

様式第2号（第3条、第7条及び第8条関係）

事業実績書

令和4年3月3日

団体名 綾部市由良川内水処理対策協議会

事業の目的 (何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。)	由良川と四ツ尾山で囲まれた綾部地区から中筋地区で暮らす人々の生命と財産をおびやかす内水被害の減少を図るために、雨水ポンプ場の早期設置とともに、河川や都市下水路などの改修の実現に向けて取り組む。
事業の名称	綾部市由良川内水処理対策協議会
事業費 (市補助金)	95,000円 (50,000円)
補助金の用途 (団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。)	1. 定時総会(5月) 2. 国會議員への陳情活動 3. 雨水ポンプ場工事に係る連絡会議 4. 事業の円滑な運営を図るために、役員会、建設協議会及びその他の会議の適宜開催 5. その他目的達成に必要な事業
事業実施期日	令和3年4月1日～令和4年3月31日
事業実施場所	井倉町中央公会堂、他
事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)	総会を実施し、事業目的と継続した活動を全会で確認した。今年度も新型コロナのため活動の自粛を余儀なくされたが、雨水ポンプ場の第2期工事着工にあたり、地元住民の意見を反映できるよう、綾部市及び工事業者と協議会建設委員会メンバーで適宜協議を行い、地域住民と一体となった活動を展開した。年度末には念願であった雨水ポンプ場の完成を確認することができ、大雨等により内水が発生する場合には、被害減少につながる雨水ポンプ場が機能することを期待する。 また、防災施設に対する見識を深めるため、由良川防災ステーションの視察、完成前の古川樋門雨水ポンプ場の見学に取り組んだ。
補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)	下水道事業団、建設業者及び綾部市と協議会建設委員会との間において、工事計画及び進捗状況を確認するとともに、地域住民の意見を踏まえた円滑な協議ができ、念願であった雨水ポンプ場の完成を確認することができた。 また、由良川防災ステーションの視察、古川樋門雨水ポンプ場の完成前見学が実施でき、防災施設に対する見識を深めることができた。

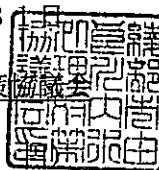
様式第4号（第3条関係）

収支計算書

令和4年3月3日

団体名 綾部市由良川内水処理対策協議会

(単位)



	区分	予算額	収入済額	明細
収入の部	市補助金	50,000	50,000	綾部市より
	負担金	45,000	45,000	参加団体より
	雑収入	0	0	
	その他収入	0	0	
	繰越金	0	0	
合 計		95,000	95,000	
	区分	予算額	支出済額	明細
支出の部	会議費	28,000	29,638	総会、建設委員会、他
	事業費	60,000	58,000	会場費、視察交通費他
	事務費	5,000	7,362	印刷、事務用品
	雑費	2,000	0	
合 計		95,000	95,000	
差 引		0	0	